



森のなかま

2023年 2月号

NO. 176 (継続321号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 佐藤 恭平
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

< 森林技術部会主催 >

「手元ロープ作成研修会」 さつま編み手順習得

日時： 2022 年 12 月 11 日 (日)
場所： アミューあつぎ
講師： 大澤 斗志郎⑩ 滝澤 洋子⑤ スタッフ：岩田 典義⑭
参加者： 水口⑨ 小松⑭ 水野⑭ 石垣⑮ 西村⑮ 久次米⑯ 小林⑯ 中澤⑯ 小国⑰
三浦⑰ 森本⑰ 小俣⑰ 内田⑰

(記 三浦 由香子⑰ 写真 岩田 典義⑭)

いつもは森の中での活動が中心の森林インストラクターですが、地上 6 階の一室に 13 名の参加者、講師 2 名、スタッフ 1 名が集まり、机上で試行錯誤する講習会となりました。

森林整備の際に必須アイテムである手元ロープ（引き縄）を自分自身で作るという細かい手仕事で、材料となった直径 9 mm、長さ 4m のロープの両端にさつま編みでアイ（輪）を作るというものでした。

ロープは何本もの紐が束になった 3 本のストランドをほどいて 3 本にするところから始まりました。3 本のストランドの先端には、編み込んでいくのが分かりやすいように色分けしたカラーテープを付けていましたが、1 本目を編み込んでいくスタートから迷子になり「これは買った方が早いな…」という声も聞こえていました。しかし、2 本目、3 本目と進むうち夢中になり、講師に質問や見直しを求めながら休憩時間となっても手を止めずに編み込んでいく姿が見られました。

今回の森林技術部会の講習会は修了式を終えたばかりの 17 期生が初めて参加する講習会でしたので感想を伺ってみました。

「ネット動画で予習し講習会に臨みましたが、手順が異なり妙な形になりかけました。が、講師の方の助言でコツをつかみ、何とか編み上げることができました。講習後、復習もかねて周りにあるロープのさつま編み化を進めています。」(小国⑰)



「さつま編み講習会は、講師の方に丁寧に教えていただき何とか使えるロープに仕上がりました。“さつま”はさつま芋のような見た目からできているとか。私の編んださつま編みは、まさに味のある凸凹感で美味しそうなさつま芋に仕上がりました。年明けの県民参加の森林づくり（竹伐採）で活用します。」(森本⑰)



森林作業をする者にとって、道具は大切なものでその道具の手入れも効率的で安全な作業を行うためには重要な事となります。その道具のひとつを手間ひまかけて自分自身で作るという体験は、とても良い時間となりました。

< 日本触媒・湯河原万葉の森事業部 >

「秋季体験活動」

日時： 2022 年 11 月 19 日（土） 11：00～14：30

場所： 湯河原・万葉の森

参加者： （株）日本触媒 40 名

湯河原町：高杉様、米山様 財団：豊丸課長、江坂様 看護師：青木様

インストラクター： L 内野⑨、女川⑨、辻村⑨、水口⑨、上宮田⑪ 黒川⑭、鈴木⑭、牧石⑭、河西⑮、西村⑮

（記 写真 内野 ミドリ⑨）

秋晴れに恵まれて約 3 年半ぶりに社員の皆様をお迎えして秋季体験活動を行いました。

午前中は、初めて万葉の森を訪れた方が多いので、4 班に分かれて散策コースを歩き、活動エリアの紹介と自然観察をしました。以前発行した「万葉の森・花ごよみ」を見ながら今までの活動の様子を確認したり、一昨年秋に間伐したヒノキに植菌したナメコの収穫体験をしたりと、長く活動できなかった時間が埋まったようでした。

昼食時には、収穫したばかりのナメコで作ったナメコ汁とクロモジ茶（「万葉の森」産）を味わっていただきました。自分たちで収穫したナメコの味は格別だったようで好評でした。

午後は少花粉スギの枝でリース作りを体験、小さなお子様たちも感性豊かに素敵なクリスマスリースを作っていました。リース作りを希望されなかった方には幕山と相模灘が展望できる散策 C コースを案内しました。

参加された方からいただいた感想の抜粋です。

- ◆日本触媒オリジナルの「花ごよみ」を見ながら説明していただき、実際にニツキの葉を摘んで香りを嗅いだり、ヤブムササキのビロードのような葉を触ったりしたのは貴重な体験でした。
- ◆自ら木を伐り、クリスマスリースを手作りするという貴重な体験ができました。
- ◆「御帰りなさい」的雰囲気ですべて迎えて頂きました。小さな子供たちと一緒にリース作りに挑戦でき、60 才の手習い作ら楽しい体験でした。
- ◆忘れていた童心を思い出すかのような体験となり、自然の素晴らしさを再認識することができました。
- ◆例年のように間伐等が体験できることになったらまた参加したい。
- ◆インストラクターの皆様が日頃から手入れしてくださったおかげで大変楽しく自然を学ぶことができました。

体験活動の再開を心待ちにしていた日本触媒の森事業部のメンバーにとっても 1 週間前の準備・整備作業も含めて感既深い活動となりました。



ナメコ収穫



リース作り

<やどりき事業部>

「やどりき周辺 自然観察
～錦秋のやどりきの里へ」



場所: 寄バス停～土佐原～三廻部林道～寄バス停

日時: 2022年12月10日(土)

参加者19名、

インストラクター; リーダー上宮田⑪、水口⑨、杉崎⑩、河西⑬、飛田⑭

< 記 内田 祐子⑯ >

やどりき周辺地域の魅力をもっと県民に知ってもらい、より多くの方にやどりき水源林に足を運んでいただくことを目的に、今年度は寄バス停を起点とする自然観察を年2回行うことを企画しました。今回は春の桜三昧ハイキングに続く第2弾! 「錦秋のやどりきの里へ」です。春のコースとは異なり、やどりきバス停から土佐原地区を通り三廻部林道へ、そしてやどりきバス停に戻るコースです。当日は19名の方に参加いただき、インストラクター5名で案内をさせていただきました。

時期としては紅葉時期終盤に入っていましたが、土佐原地区の展望台から山々を見渡すと秋の彩を残した景色を見ることができました。また、三廻部林道へ抜ける登山道からは表丹沢の山々を一望することができました。



インストラクターの

案内で、木々の葉や

果実、種子を手にとって観察したり、果実の匂いを嗅いだり、また種子が舞う様子を観察していただくことができました。数組のご夫婦が参加されていましたが、日ごろ足を止めてみることにない木々や草花の話にとても興味を持たれ、ご夫婦の会話も弾んでいるようでした。

快天のもと、参加者の皆様には、晩秋のやどりきを五感を十二分に使いながら体感し、楽しんでいただきました!



サネカウズラ (ピナンカズラ)



リンドウ



ウバユリ



マユミ



ホウノキ (冬芽)

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

古くから伝承的に伝えられてきた薬効を持つ植物があります。そのような植物は民間薬として用いられ、生薬（しょうやく）とも呼ばれています。英語では「天然のままの」、「未加工の」といった意味を込めて crude drug と言います。生薬は植物の茎、葉、樹皮などの部位をそのまま煎じたり、蒸留したりして利用するもので、薬効成分を取り出したりせずに使うものですからまさに crude drug なのです。生薬は植物由来のものが大半ですが、動物や鉱物に由来するものもあります。

くらしの中で経験的に見いだされ利用されてきた薬用植物の数は多く、薬効成分や効能が不確かなものもありますが、中には薬効成分が突き止められ医薬品の開発に利用されているものもあります。生薬はその地域、地域ごとに人々が経験的に見出したものでこの国に行っても言い伝えられ利用されてきたものがあります。

わが国では薬草としても用いられてきたものでよく知られているものにゲンノショウコ、ドクダミ、センブリがあります。それぞれ全草を煎じてゲンノショウコは下痢止めに、ドクダミは腫物、便通、高血圧予防に、センブリは健胃、胃痛に用いられてきました。



ゲンノショウコ

雑草として野にはびこるアカザ、シロザの葉は虫刺されに、イタドリは根茎がじんましんに、オオバコは全草が咳止め、はれものに、ヨモギは葉がぜんそく、咳止めに、セリの地上部は神経痛に、ヤブガラシの根茎は腫物や毒虫刺されにくいといった具合に薬草として経験的に用いられてきました。最近ではその成分もわかっているものがほとんどです。

薬用樹木も数多く知られています。最近注目

第49回 健康維持に利用されてきた身近な植物

東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

されているのがスギ林などの下層に生えるクロモジです。クロモジは爪楊枝として知られていますが、その香りにリラックス作用があることでアロマとして利用されていますが、最近その香りがインフルエンザウイルス感染予防に効果があることや白血病細胞の増殖を抑えることも明らかにされています。



クロモジ

イチヨウの葉には認知症予防に役立つ成分が含まれていてドイツでは医薬品として利用されています。世界最古の現生樹種の一つであるイチヨウの原産地は中国です。わが国でも街路樹としてよく知られている木ですが、ドイツは日本からイチヨウの葉を手に入れて医薬品の開発を行ったのです。

海外の樹種ではフランス大西洋岸に生育するフランス海岸松の樹皮に含まれるポリフェノールにがんや動脈硬化の原因となる活性酸素を抑える抗酸化作用があることが分かり、ピクノジェロールという名で市販されています。わが国にはアカマツ、クロマツが多く存在しますが、葉をお茶として飲むとコレステロールが減少し、また、心筋梗塞や高血圧の予防になるとも言われています。

クロマツの葉には食欲不振、冷え症、咳止め、去痰作用があるといわれ民間で使われてきました。若葉を酒につけた松葉酒は低血圧、冷え症、滋養強壮に効果があるといわれています。

健康を維持するのに役立つ植物が身近にあるのです。

(イラスト 広報 11期長尾(旧姓大塚)晴子)

活動短信

今回の掲載はR4年11月5日から11月12日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

2月(如月)(旧暦1月睦月)の 二十四節気と雑節

二十四節気 :立春2/4 雨水2/19

雑節 :節分 2/3 節分は、季節を分ける日で、立春、立夏などの前日で年4回ある。現在では2/3の節分が新年を迎える大晦日として有名で、邪気を払う豆まき、恵方巻などの風習が残る。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できればWord、メール直筆でもOK。Excelはできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので写真もあれば添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 例 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、**看** 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター① (○数字:期) **研**:研修枠

以下、本文を概ね400字前後を目安として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 東日本電信電話株式会社 神奈川事業部 「枝打ち活動」

日 令和4年11月5日(土) 10:00~12:00 曇り後晴

場 21世紀の森 平成25年度成長の森

参 大人41名、子供1名

県 環境農政局 緑政部 水源環境保全課

水源の森林推進グループ 村田様、佐藤様

イ L 牧石⑭、小野⑦、上田⑩、山口⑪、西出⑫、

大岡⑮、岡村⑯

東日本電信電話株式会社 神奈川事業部の第1回目の森林保全活動が県立21世紀の森で開催されました。

心配された天候も当日は曇り後晴れ、



気温は前日より5度ほど低い17度でしたが開会式が始まる頃には陽ざしが差し込み周囲の紅葉が綺麗でした。

事務局小林様より挨拶後、開会式がスタート、鈴木課長様、県担当者様の挨拶後、インストラクター紹介、準備体操、全員で記念撮影が行われたのち、班毎にまとまり用具を装着後、枝打ち現場の平成25年度の成長の森に移動。成長の森について説明後、

10:40~枝打ち作業開始。

11:30枝打ち活動を終了し、用具倉庫前に移動、用具の清掃、片付けを完了し

12:00~半田課長

様よりご挨拶後閉会となりました。約90本の枝打ちを行い、予定していた活動範囲の枝打ちは東日本電信電話株式会社 神奈川事業部の皆様のパワーにより全て完了しました。

参加された皆様より、植栽地が綺麗になり達成感を感じた。次回も是非参加したいとの感想をいただき無事終了しました。

(記、写真 牧石 稔⑭)



◆ 雪印メグミルク株式会社 海老名工場 水源林体験活動

日 令和4年11月4日(金) 10:00~15:00 晴れ

場 やどりき水源林

参 25名 **財** 古舘様

イ L 上田⑩ 牧石⑭ 大友⑯ 計3名

9:30 寄バス停で集合し、バス運転手と水源林内にバスを乗り入れることを打ち合わせした結果、指定場所まで運行することになった。

林間広場は青空のもと、足元のカツラ落葉からの甘い香りで包まれていた。予定が少し早くなったが林間広場で始まりの会を行い、やどりき水源林の概要と本日の活動の内容を説明し、午前のプログラム A コーストレッキングと B コース森林癒しと自然散策に出発した。午前中の活動については、初めての活動であるため、ゆっくりとコースを回って水源林の事、森林の整備計画(林相ごとの整備)自然から受ける癒やし効果などについて話しながら、コース沿いの植物なども観察しゆっくりと秋の森林散策を楽しんでもらった。

昼食時には川原に下りて、滝郷の滝を観に行く人もいた。午後からは今準備できる素材(丸太、杉枝、カツラの間伐材など)を広場のテーブルに並べて自由にクラフ



トを作る時間を設けた。

丸太切りのウマを 3 台使って大径木の丸太切、コースター用丸太切など、参加者は各々の目的にあった丸太切りを行い、競い合いながら入念に紙やすりで磨き上げていった。



杉枝を使ったクリスマスリース作りは、杉枝を形よく丸くするのに苦労しながら黙々と作業を進めていた。



穏やかな日差しの中で秋色に染まった森の広場で楽しいひと時を過ごした。出来上がったクリスマスリースを林間につるしみんなで出来栄を確認しあった。

終りの集まりの中で、参加者の皆様から、楽しかった。また来たい。とのお話を伺い閉会となった。バスを見送り、本日の活動の反省会を行い 15 時 30 分戸締りをして現場をあとにした。(記、写真 上田 啓二⑩)

◆ 三菱倉庫株式会社 間伐、自然観察

日 令和 4 年 11 月 6 日(日) 10:00~14:00 晴れ

場 山北町世附水源公有林岡

参 25 名

県 水源環境保全課 村松様 岡本様

イ L 上田⑩ 辻村⑨ 山下⑪ 上宮田⑪ 坂井⑮

10 時 時間通りに活動を開始することができた。間伐場所の入り口でプログラムに沿って開会式を行い主催者から第 9 回目の活動で、社の環境保全活動の取り組みについて話があり、海外においても植樹などの活動が実



施されていることが紹介された。県の担当者村松さんから神奈川県の水源環境保全行政に対する説明とご協力への感謝の言葉が述べられた。その後インストラクターから本日の活動における概要および安全に対する注意事項について説明を行なった。準備運動の後各班(間伐 16 名 自然観察 17 名)に分かれて活動が始まった。

間伐班は道具を装着して現場に向かった。本日の伐採本数は各班 2 本計 4 本の予定であったが、比較的大きな杉の木であったため、1 本伐採した後処理を行ったところで終了時間となってしまった。

自然観察班はバスに乗り世附川沿いに浅瀬までのぼり、ゲート前で下車、秋色になった山々と世附川の清流を見ながら上流に向かって歩き、色づいた木々の中を流れ落ちる夕滝を見に行った。不老山から流れきた水は夕滝となって世附川に合流されていた。写真を撮り、



あたりの風景を観察した。予定時間が来たので登ってきた林道を足元に降り積もった落ち葉を踏みしめながら浅瀬に向かって下った。

間伐班と合流して玄倉の丹沢湖ロッジに移動。昼食をとりながら参加者と活動の振り返りを行い、また、森や山や自然環境の事など話し合いながらひと時を過ごした。

14 時 小春日和の一日を世附の自然の中で無事活動を終えることができた。

(記・写真 上田 啓二⑩)

◆ 松田町立 寄小学校 森林環境教育 (丹沢大山自然再生委員会 助成事業)

日 令和 4 年 11 月 9 日(水) 晴れ

場 やどりき水源林(林道コースなど)

参 小学生 6 名(5 年生)、教員 1 名

イ L 井出①、滝澤⑤、松本⑪、古館⑬

2018 年度から実施している、丹沢大山自然再生委員会との共催事業「森林環境教育」。今年も紅葉で色付いた水源林で実施しました。

<活動内容>

- ① やどりき水源林内の観察（林道コース）
水源林の自然観察。森林の役割や仕組み、森林を守る人々の取り組みを知る。
- ② 植物や動物など、水源林に棲む生き物に興味と関心を持つ。（スギ・ヒノキなど植物の解説、動物の頭骨の特徴を観察しながら生態について解説。）
- ③ 水源涵養実験（森林の緑のダムとしての機能を理解する。）
- ④ 丸太切り（地元で育った森林に親しみを持つ。）



やどりき水源林の自然観察を通じて、森林の役割や仕組み、水と森林のつながり、森林を守る人々の取り組みなどに気付かせることを

主眼とし、森の樹木やきれいな沢の水に触れるなど、子供達も十分に自然に触れ合うことができました。

さらに水源涵養実験、間伐材を使った丸太切りや、動物の頭骨の観察を行うなど、短い時間でしたが多彩な活動を行うことができました。

（記・写真 井出 恒夫 ①）

◆ 相模原市立津久井中央小学校 間伐体験

- 日 令和 4 年 11 月 10 日（木） 10:00～13:30 晴
場 相模原市緑区澤井 やませみ（大日野原）
参 16 名（5 年生児童 14 名 教師 2 名）
やませみ職員 3 名
イ L 松石⑬、牧石⑭、岡村⑯

朝からきれいな青空がひろがり、小春日和の下で気持ちよく活動ができました。10 時 ふじの体験の森やませみに集合し、インストラクターの紹介等を行った後ヘルメットをかぶり、班単位で間伐作業場所へ出発しました。目的地まではやや急な坂道の連続で、疲れたという声もきかれました。途中、鋸やゴーグルを装着し、それぞれの作業場所へむかいました。

作業開始前に、事前授業（10/24）で行われた間伐の説明に対する補足等行いました。初めはノコギリがうまく使えない子がほとんどでしたが、交代しながら作業をすすめていくうち上手になっていきました。（引く音がリズムカルになっていきました。）伐倒樹木の樹高は約 20m あり、木が倒れる瞬間は地響きが轟き、児童たちは、驚きと同時に倒れたという実感にあふれていました。玉切り、枝落とし、

コースター作成へと移りました。コースター作成では檜を用いたことにより、杉の間伐を行った児童は、‘この木は固い’と実



感し、木によって硬さが違うことを理解しました。その後集合場所へ戻り、昼食となりました。

食後のグループミーティングにて、初めての体験で楽しかった、また 1 日で間伐本数は何本ですか？ インストラクターになった理由はなんですか？などの感想・質問等が飛び交い和やかな雰囲気の中無事終了しました。

（記 岡村 寛⑯ 写真 松石 藤夫⑬）

◆ 第 13 回県民参加の森林づくり（枝打ち）

- 日 令和 4 年 11 月 12 日（土） 8:30～14:00 晴
場 箱根町畑宿（県有林②）
参 78 名
財 古舘様、藤本様 看 佃様
スタッフ 小田原市森林組合 2 名
イ L 斉藤⑬、滝澤⑤、柏倉④、湯浅⑪、山口⑩、佐藤⑯、吉田⑪、渡辺⑫、石川⑫、黒川⑭、森⑮、西村⑮、野牛⑧、祐谷⑯、久次米⑯、堀口⑯

受付を済ませた順に 2 2 名ずつ早雲像前を出発。途中、箱根湯本駅前まで渋滞したものの、大きな遅れもなく 10 時前にオリエンテーション開始。現地は、少花粉スギ、無花粉スギが植樹され、過去数回の県民参加、ブラッシュアップ研修、1 7 期生養成講座で枝打ちが行なわれ、今回は最終回。近接作業を避けるため一本の木をひとりで手の届く範囲の枝打ちを行なった。1 0 年生で樹冠が繁っているため上空からの日差しはあまり期待できないが、枝打ちの効果で横方向の見通しが良くなり、遠くまで見通せるようになった。「今回は最終回」という目標が達成され、活動終了。総数は 8 0 7 本。森の外で道具の手入れののち、レモネードのカート配布、緑の大使・伊茂治さんの感想で閉会となった。



このあと各班ごとに入浴のため箱根高原ホテルへ向かった。看護師さんのお世話になる人がなく終えられたことが一番の成果である。木が成長して、間伐の会場になる日が楽しみである。
（写真・文章 石川 裕一⑫）

やどりき水源林ミニガイド

「森の案内人」

12-2月「森の案内人」はお休みです。

3月からの森の案内人募集を始めました。今年からの新しいメンバーも加わり、案内人一同皆様の訪問をお待ちしています。

●やどりき水源林問合せ:

(公財)かながわトラストみどり財団

TEL: 045-412-2255

FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

E-mail: midori@ktm.or.jp

(かながわ森林インストラクターの会)

ホームページ <http://www.forest-kanagawa.jp>

E-mail k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

(@は半角@に置き換えてください)

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>

(HP担当: 大友 博道)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

黒川 敏史

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

Tel: 080-5477-2206

<電子配信会員向け担当> 笠原

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

<電子配信企業等パートナー様向け担当>

柳澤 Mail: kshinrin_pr@icloud.com

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】黒川 敏史

Fax: 0467-46-8650

電話連絡先: 080-5477-2206

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊】小林 照夫

Mail: tspocket17@gmail.com

原稿は随時受け付けています。

編集後記

★最強の寒波とか?

私の田舎ではこの時期寒いのは当たり前のことでした。学校は10日間位の寒中休みというものがあり、宿題もなく寒いけど良い時でした。友達とソリ遊びや、ウサギ捕り(残酷ですが罠を仕掛けてとりました)雪の時期は小さなスギなどの先端を食べる害獣となるからです。針葉樹はそれでもう製品としてはアウトになるのです。当時は、雪深く寒い田舎には鹿、猪はいませんでした。天敵の狐は少しいたのかも、ウサギはあちこちにいました。

(松本)

★「10年に一度の寒波とかで寒い日が続きますね!今年七福神巡りをしようとの話が出ました。但し帰りに温泉と冷たいビールがあること。

ありました!箱根七福神巡りがその条件にピッタリ。寒い箱根と🔥に行ってきた。」(阿藤)

★1月7日の天声人語で「近代七草」を知った。半世紀ほど前に提唱されたようで、「三つ葉・春菊・レタス・キャベツ・セロリ・ホウレン草・ねぎ」と、日常食野菜そのものだ。語呂よく覚えた「せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ」がやはり、春を告げる七草に相応しい。寒さ厳しき大寒を過ぎれば、文字通り冬来たりなば春遠からじ。歳のせいかわやかな春の訪れが待ち遠しい。(中澤)

松田町イベント情報

① 寄 ろうばい祭り 1/14-2/12 松田町寄ロウバイ園

ろうばいが 現在満開です。

② まつだ桜祭り 2/11-3/12 西平畑公園

河津桜と菜の花が楽しめます

詳しくは、松田町役場HPでご確認ください

[松田町公式ホームページ \(town.matsuda.kanagawa.jp\)](http://town.matsuda.kanagawa.jp)

<暦紹介> 活動短信の記事の最初に24節気と72候を短くまとめて記載してきましたが、今月号から24節気と、日本に伝わる雑節を紹介しします。雑節は、節分、彼岸、八十八夜など九つあります。2月は節分です。

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。

かながわの水源地域の
保全・再生をめざして

<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

人も自然もいきいき丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会の
ホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体でも取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。 便振替口座 00230-0-2454 かながわ森林インストラクターの会宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 黒川 敏史

広報部: 吉田郁夫 松本保 笠原かずみ

阿藤壽孝 長尾晴子 竹内明彦

柳澤千恵美 小林照夫 中澤良夫

支援: 大原正志 江頭淑子